



石神井南中学校 学校だより

令和 3年度 第 5号
発行日 9月 1日(水)
練馬区立石神井南中学校
校長 田 邊 克 宣

2 学期開始！！

校長 田邊 克宣

大輪の向日葵が中庭に立ち並び、学校の主たちが戻るのを今か今かと待ちわびています。生徒たちの賑やかな姿が再び見られるまで、あと数日となりました。この夏休み、私は家にこもって読書三昧の日々を送りましたが、生徒諸君は、自分なりにどんな工夫を凝らしましたか。ぜひ聞かせてください。

さて、練馬区立学校では一斉に、当面の午前授業等の対応をとりつつ2学期を開始します。本校としても、今回の緊急事態宣言は、今までより一層の危機感をもって迎えなければならない状況であると考え、始業式を繰り下げと変更いたしました。新型コロナウイルスの感染が日々増加する中、どう対応することが最良であるのか、夏休みの間ずっと考え続けておりましたが、変更に至った最大の判断材料は、若年層の感染拡大と重症化です。

ここ4週間は、特に10代の感染増加が顕著です。後掲の表をご覧くださいただければ一目瞭然ですが、練馬区では、7月第1週の10代での感染者は17名、全体に占める割合は8.8%でした。それが次第に増加し始め、8月16日からの4日間では133名、12.1%にまで膨れ上がるに至り、2学期始業式の後ろ倒しを決断した次第です。デルタ株の増殖から子供を守るための窮余の策とはいえ、各自またご家庭での予定にも影響が出たことと存じ、生徒、保護者の皆様には申し訳なく思っております。

この措置と併せ、2学期に予定していた教育課程の変更についても検討いたしました。行事については年間を通して策定しており、いずれも事前準備と事後のまとめがあり、一つをずらすと他の全ての日程に影響が及びます。3年生の進路に関わる活動は、後回しにすることはできません。

わけても修学旅行は、変更につながる諸事項が、他の行事とは比較にならないほど大掛かりなものとなります。端的に言えば、時機を逸すると、宿と新幹線の手配ができなくなります。そうした中、仮に実施した場合、120名からの集団が一般の人に交じって長距離の電車移動をし、部屋ごとに複数で寝食を共にする行動は、感染リスクを高めることにほかなりません。現地で体調不良となった場合、対応は非常に困難となります。また、出発前に陽性が判明し、周囲が濃厚接触者として認定されれば、学級・学年単位で2週間の自宅待機を要することとなり、その場合には中止せざるを得なくなります。その時点で延期日程を組んでも、もはや宿と新幹線の予約は取れません。

このような状況を勘案し、修学旅行を安全に、何としても実施するために、可能性の高い3学期への延長を決めました。現段階でも、すでに代替日程での予約については厳しい条件が提示されており、実施内容の変更について、現在、学年教員が取扱業者と相談しながら代替案を作成しております。キャンセル料については、練馬区教育委員会と調整しております。どうぞご理解のほどお願い申し上げます。

他の行事についても、可能な限り実施する方向で検討しておりますが、命と健康を最優先として、規模縮小や内容変更等をするとともに、中止もありうることを、また、授業時数確保のために授業日や時間割の変更をいたしますことに、ご理解とご協力をいただきたくお願いいたします。

新型コロナウイルスは、デルタ株等への変異を経て、感染力や重症化等、現在はその発生以来最も脅威が増している危険な局面となっています。我々がとるべき行動は、感染の拡大状況そのものを事実として捉え、より適切な対処をするための判断をすることですが、蓋し、世間的には、何か他人任せのような風潮がありはしないでしょうか。ニュースでは、「オリンピックを開催しているのだから、自分も好きに外出していいだろう」という声が紹介されていましたが、これは、自らの主体的な判断を放棄して、見定め

るべき本質を見失っていることを露呈しているのではないのでしょうか。また先日の報道では、「まさかウチの子がかかるとは思ってもいなかった」という保護者の談話も紹介されていました。どれだけ感染予防策を取ろうとも、感染リスクを0にはできません。誰もが、いつかかってもおかしくなく、その誰かは、誰でもない、“私”です。感染の危険を十分に理解し、誰かのせいにする事なく、常に自分でしっかりと判断して行動する姿勢が、自分も、家族も、仲間も、辛い目に遭わせないことにつながるのだと考えます。今一度、「感染しない・させない」意識を新たにし、2学期に実践していきましょう。

そしてこれも再三のお願いとなりますが、闘うべき相手はウイルスです。自然の脅威に対しては、積極的に自衛するしかありません。それでもかかってしまえば、それはお互い様です。決して誹謗中傷などすることのないように、また、不用意に「誰？」という問いを発しないことを、石南中の行動規範として生徒・教職員・保護者の全員が安心して生活できる学校を、一人一人が意識して作っていきましょう。

2学期は四カ月。この長い期間を、自分自身で充実させていこうとする知恵と工夫は、生きる力を育む活動そのものです。まずは命と健康を第一に考え、そのための様々な制約であることを理解しながら、大局を見据え、今、できることの一つ一つを大切に取り組んでいきましょう。

保護者、地域の皆様のご理解とご協力を、2学期もどうぞよろしく願いいたします。

〔 10代感染状況 〕 <練馬> (全体に占める割合)

7月	第1週	17名 (8.8%)
	第2週	34名 (9.3%)
	第3週	48名 (9.2%)
	第4週	100名 (8.8%)
8月	第1週	150名 (10%)
	第2週	120名 (9.1%)
	[16(月)~19(木)]	<u>4日間で133名(12.1%)</u>

〔 2学期行事予定 〕

- 運動会 …… 検討中 (時期・規模 等)
- 新入生保護者説明会 …… 実施予定 ※学校公開は中止
- 修学旅行 …… 延期 (3月) ※進路日程に影響のないように組みます。
- 連合陸上競技会 …… 中止 ※練習に一生懸命参加していた諸君の態度は立派です。
- 文化発表会 …… 延期 (2~3月)
- 60周年式典 …… 実施 (規模・時間等縮小)

〔 感染拡大予防のために 〕

- ① 以下の場合、登校を控えてください。
 - ・発熱や風邪の諸症状がある
 - ・家族が陽性となった ※保健所の指示に従ってください。
- ② 学校で体調不良となった場合、早退といたします。
保護者連絡が必ずできるようにしておいてください。

※家庭内、塾、会食等による感染が増えているとのことです。

学校では引き続き感染防止対策 (手指消毒・換気・FD確保等) の徹底に努めます。

ご家庭でも十分にご注意いただきますようお願いいたします。